

作業面による安心感 ～面で動くメリットを考える～

広い現場で作業をスムーズに行うために有効なのは？

可搬式作業台を転々と移動させて作業を行う方法もありますが、移動式室内足場の連結で面を形成して（敷き詰めて）一気に作業を行う方法も効率的。

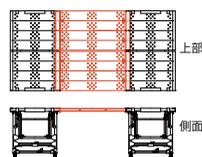
本体と連結ブリッジで面を形成することは転倒を抑制し、安定性向上の効果もあります。

作業面積も大きく、安定した状態で作業ができ、キャスターがついて移動の楽な移動式室内足場「コンステージ」をご提案します。広い作業面での作業は、安心感と安定感が抜群です。

■経済性抜群の連結ブリッジ

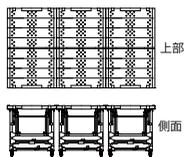
移動式室内足場の大きな特徴は本体同士を連結して作業面をつくること。コンステージは、本体2台の間に連結ブリッジを組み合わせて単位面積当たりの単価を26%安く構成することができます。また、敷詰め面積が大きくなればなるほど効果(30%)は大きくなります(自社シミュレーション結果)。

■コンステージの場合(2台+連結ブリッジ4枚)

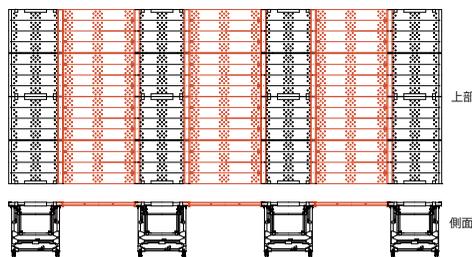


単位面積
当たりの単価
26.6%
安く構成

■一般的な作業台(3台)



■コンステージ敷き詰め例(8台+連結ブリッジ24枚)



単位面積
当たりの単価
33.8%
安く構成

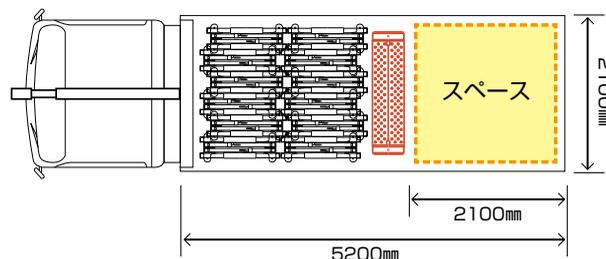
鋼製の移動式室内足場と比較すると約40%軽量化となり、連結ブリッジと組み合わせると更に軽量となります。(自社調べ)

■省スペースの実現

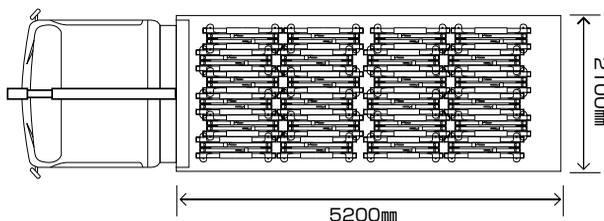
本体ばかりでは積み重ねが可搬式作業台程できにくく場所を必要としますが、連結ブリッジは積み重ねが可能。同様にトラックで輸送する際も、敷き詰め面積次第では省スペースになるので本体の増量や他製品との積み合わせができます(積み方で差異が出ます)。

<4tトラック(ユニック車)積載シミュレーション>

■コンステージの場合



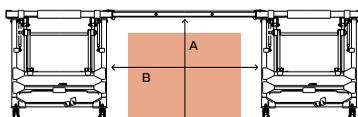
■一般的な作業台



■障害物をかわせます

コンステージ本体と連結ブリッジを使えば、ブリッジ下の空間分の障害物(オフィスの机など)をかわすことができます。

机などを移動せず作業を行うことができます。



型式	A	B
MKT-870	612~805	1495
MKT-1100	753~1061	
MKT-1750	1082~1702	
MKT-1980	1301~1917	

(mm)